

タウンレポート Town Report



芳賀町戦没者追悼式

9月25日(水) 町主催による平成25年度戦没者追悼式が、農業者トレーニングセンターで行われ、約100人が参加しました。



町長と荷見泰一遺族会会長が追悼のことは述べ、戦争の悲惨さと平和の尊さをあらためて確認しました。
陸上自衛隊宇都宮駐屯地隊員による鎮魂のラッパ奏上が厳かに行われたあと、参加者が白い菊の花を式台に供えました。

梨に新米、秋の味覚！ 道の駅でうまいもんフェア

9月23日(月) 道の駅はがで、梨まつり・新米まつりが開催されました。



今年は、収穫量は少ないものの、甘くておいしい梨が販売され、たくさんの方が買い求めていました。試食用に用意された梨も大人気で、大勢の人が旬の味を味わっていました。
「芳賀のめぐみ」の新米は、販売のほか炊きたてが無料で配布され、芳賀町の米のおいしさをPRしました。

芳賀中部上水道企業団 災害時応援協定締結

9月30日(月) 芳賀中部上水道企業団が、埼玉県にある坂戸鶴ヶ島水道企業団と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。



坂戸鶴ヶ島水道企業団は、すでに町が災害時の相互支援協定を結んでいる川島町の近くにあり、比較的短時間で相互の協力が可能なことから、協議を重ねて締結に至ったものです。
本協定の締結により、ラインアップとしての水道水を安定供給する体制が強化されました。

たばこ組合が町工業団地 管理センターに灰皿寄贈

9月に、町工業団地管理センターに、町たばこ組合から灰皿2台が寄贈されました。



組合では積極的に町内の分煙を進めていて、ロマンの湯やモテナス芳賀などにも灰皿を寄贈しています。組合長を務める塩田秀樹さん(西水沼)は「分煙を進めている施設に寄贈しています。ご希望がありましたらお近くのたばこ販売店にお問い合わせください」と話しました。

とちぎ元氣グルメリまつり in那須塩原

10月14日(月) 那須塩原の那須野が原公園で、とちぎ元氣グルメリまつりが開催されました。会場には、



出店された各地のグルメリを求め約6万人が来場しました。

町からはHAGA未来研究会が「HAGA焼きソバ」を出店し、出来立てを買い求める人の行列ができました。「HAGA焼きソバ」は人気があり、午後4時までに2000食を完売しました。

人権の花終了式

9月26日(木) 人権の花運動を行ってきた芳賀南小学校で、人権の花終了式が行われました。



この日は、3年生と宇都宮地方法務局真岡支局長、町人権擁護委員などが出席しました。児童には感謝状と記念品が贈呈され、児童を代表して直井来輝さんがお礼の言葉を述べました。
また、人権教育に関するDVDを鑑賞し、一人一人感じたことや意見などを発表しました。児童たちは、思いやりや人権について考える貴重な時間を過ごしました。

芳賀町から女川町 サンマ収穫祭参加

9月22日(日)・23日(月) 役場職員と商工会青年部の有志13人が、宮城県女川町のサンマ収穫祭に参加しました。



豚肉のバラ焼き、フライドポテトや生ビールを販売したり、JAはが野梨部会の協力を受けて、芳賀町産の梨を無料で配りました。
また、はがまるくと町観光協会の皆さんが応援に訪れたの観光宣伝も行いました。

実りの秋です芳賀北小稲刈り

10月9日(水) 芳賀北小学校の5年生が稲刈りを行いました。



田んぼを提供している黒崎宣芳さん(芳志戸)から、農業とお米の大切さについての話を聞いたあと、県農業振興事務所職員から鎌を使った刈り取り方を教わりました。
児童たちは、慣れない手つきながらも約10アールほどの田んぼの「シ」カカリを、一株一株手で刈り取りました。収穫したお米は、11月の収穫祭で味わうそうです。

ハツ木の丘行政区防災訓練

9月28日(土) ハツ木の丘行政区で防災訓練が初めて行われ、約80人が参加しました。火災や地震発生



時などいざというときの行動確認と、地域コミュニケーションの強化を図るため行われました。
町消防団、真岡消防署芳賀分署、町防災士の皆さんが協力し、消火器操作訓練、AEDを使った救命訓練、新聞紙でできるスリッパ作成などを行ったほか、地震の揺れを再現できる起震車を使って揺れを体感しました。

東高橋交流会

9月29日(日) 東高橋自治会と地域資源保全会の合同による交流会が、東高橋公民館で行われました。



秋晴れとなったこの日は、芋煮汁や竹馬、バルーンアートなどが用意され、多くの人が参加しました。
大鍋で作られた芋煮汁は、肉や地元で収穫された野菜がたくさん入っていて、参加者は秋の味覚を楽しみました。子どもたちは大人から手ほどきを受けながら、竹馬に上手に乗ることができました。

冒険チャレンジクラブ 「古代を探ろう！」

10月12日(土) 祖母井分館の冒険チャレンジクラブが、福島県白河市の文化財センター「白河館」まほろんを訪れました。



約20人の参加者は、縄文時代の生活の様子に触れ、火おこし体験では「舞ぎり式火おこし」や、「一番難しいとされる「もみぎり」」に挑戦しました。便利さに囲まれた現代的な生活から抜け出し、昔の人々の生活に対する努力や工夫を、垣間見ることができました。